

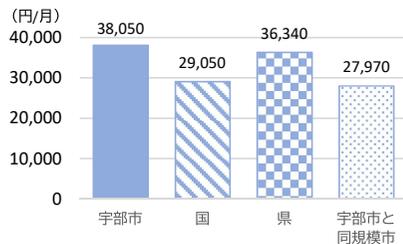
宇部市国保のすがた

特徴

- ★一人当たりの医療費が高い
- ★医療機関受診者が多い。特に脳血管疾患、慢性腎臓病
- ★健診の結果、血糖値が高い人が多い
- ★生活習慣病の兆候を見つける特定健診受診率が低い

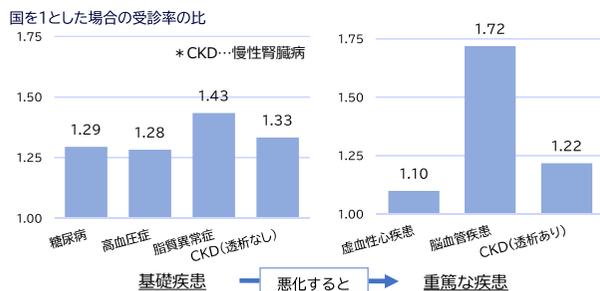
医療費

一人当たりの医療費（総額）が他と比較して高い



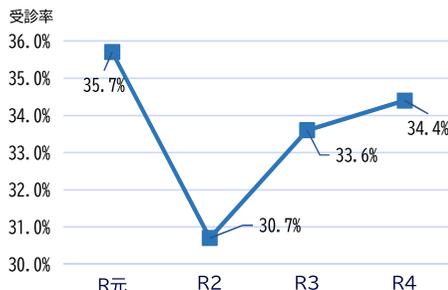
疾患別医療機関受診率（予防可能な疾患）

どの疾患も受診率が国よりも高い



特定健診受診率

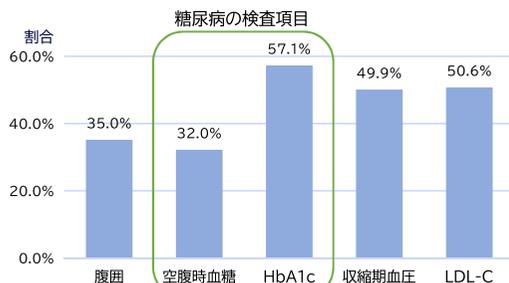
特定健診を受けた人 3人に1人



特定健診での有所見（高割合5項目）

血糖値の高い人が多い

- ・HbA1c 1～2か月前の血糖値を反映
- ・LDL-C LDL（悪玉）コレステロール



特定保健指導実施率

特定保健指導を受けた人 4人に1人



宇部市国民健康保険 健康寿命延伸プラン【概要版】

～第3期データヘルス計画 第4期特定健康診査等実施計画～



*統計は注釈がない場合はR4年度

この計画は、宇部市国民健康保険に加入されている方の医療・健診・介護のデータから、健康に関する課題を捉え、その課題に応じた保健事業を実施するための計画です。

この計画に基づき保健事業を実施することで、被保険者一人ひとりとしては健康の保持増進、生活の質の維持・向上、宇部市全体としては医療費の適正化につながることを目指しています。

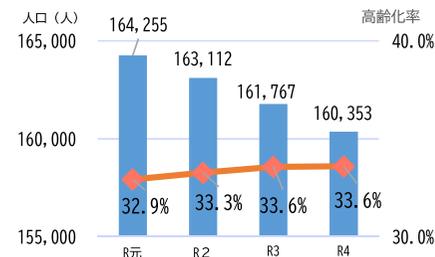
宇部市のすがた

特徴

- ★高齢化が進んでいる
- ★死亡要因の中で「腎不全」は男女とも国に比べて高い
- ★要介護認定を受けている人は5人に1人

人口と高齢化率

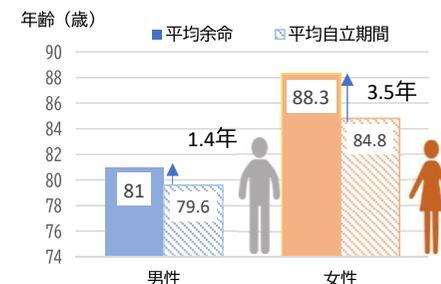
人口減少・高齢化率上昇→少子高齢化が加速



平均余命と平均自立期間の差

(寿命) (身の回りのことが自分でできる期間)

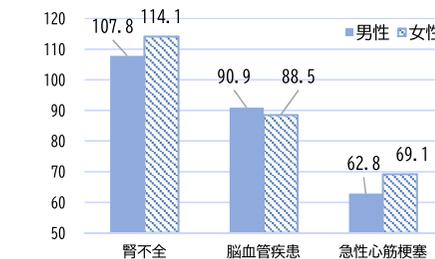
介護が必要な期間は女性の方が長い



死亡要因（予防可能な疾患）

年齢・人口を平準化し国を100とした場合の宇部市の状況（H25～29）

腎不全は男女とも国よりも高い



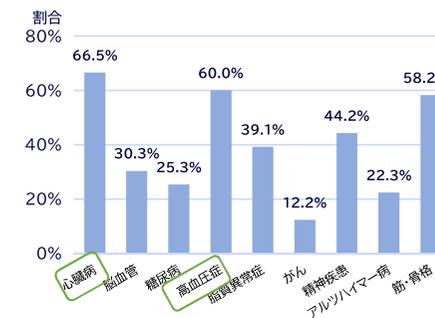
要介護の状況

5人に1人が介護認定
心臓病・高血圧症の有病割合が高い

●介護認定率 20.1%（5人に1人）

*第1号被保険者（65歳以上）

●介護認定者の有病状況





目的	今どのような状況？何が必要？	何に取り組む？	データヘルス計画目標 ●は山口県内統一目標
糖尿病の悪化を防ごう 糖尿病等の重症化予防	<ul style="list-style-type: none"> ●腎不全による死亡者が多い（全国平均を100とした場合、男性107.8,女性114.1） ●人工透析を受けている人が増加（令和元年度143人→令和4年度患者数158人） ●人工透析の原因疾患は糖尿病が多い（国統計によれば、人工透析患者の5人に2人） <p>⇒糖尿病の悪化、腎不全の予防が必要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●糖尿病治療中の人が、生活習慣を見直すプログラムに参加する <p>◎糖尿病性腎症重症化予防プログラム事業</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○腎不全の入院・外来受診率 減少 ●HbA1cが8.0%以上の人の割合 維持 ●HbA1c6.5%以上の人のうち、糖尿病未治療者の割合 減少
	<ul style="list-style-type: none"> ●特定健診の結果、血糖値が高い人のうち、未治療者の割合は23.2% ●特定健診の結果、腎機能が悪化している人のうち、未治療者の割合は13.3% <p>⇒糖尿病やCKD*の治療が必要な人が医療につながる必要がある</p> <p>⇒CKD*の知識の普及啓発が必要 *CKD:慢性腎臓病</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●受診が必要な人が定期的に医療にかかる <p>◎糖尿病未治療者受診勧奨事業 ◎糖尿病治療中断者受診勧奨事業【新規】 ◎CKD未治療者受診勧奨事業【新規】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○有病割合（糖尿病・高血圧症・脂質異常症） 減少 ○LDL-Cが保健指導判定値以上の人の割合 減少 ●血圧が保健指導判定値以上の人の割合 減少 ●特定保健指導実施率 60.0% ●前年度に特定保健指導を終了した人のうち、当年度、特定保健指導の対象とならなかった人の割合 増加
生活習慣病に気をつけよう 発症予防	<ul style="list-style-type: none"> ●特定健診後の保健指導（特定保健指導）の全過程を終了した人が少ない（全過程終了者は、保健指導対象者の4人に1人） ●特定健診の結果、HbA1c,LDL-C,血圧の数値の高い人が多い <p>⇒生活習慣を改善し、生活習慣病の発症を予防することが必要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●特定健診の結果、専門家から生活習慣改善のためのアドバイスを受ける <p>◎特定保健指導【拡充】 ◎生活習慣病予防事業</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●特定健診受診率 60.0%
	<ul style="list-style-type: none"> ●特定健診を受ける人が少ない（受診は3人に1人） ●生活習慣病で治療中の人のうち、特定健診を受ける人が少ない（受診は2人に1人） <p>⇒特定健診を受診し、自分の健康状態を知ることが必要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●治療中や未治療の人を含め、誰もが年に1回の特定健診で、自分の身体の状態を知る <p>◎特定健診受診率向上事業</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健診受診者のうち、質問票における1日1時間以上運動なしの回答割合 減少
健康づくり 早期発見	<ul style="list-style-type: none"> ●運動習慣のない人が多い（運動習慣のない人は5人に3人） <p>⇒運動習慣の定着が必要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●日頃から運動を中心とした健康づくりを行う <p>◎健康づくり関連事業</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○重複服薬者の人数 減少 ●後発医薬品の使用割合 維持
	<ul style="list-style-type: none"> ●同じ効き目の薬を重複処方されている人が一定数いる ●後発医薬品（ジェネリック医薬品）使用割合は国と同等 <p>⇒適正な服薬が必要 ⇒後発医薬品の使用促進が必要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●正しく受診し、正しく服薬する <p>◎重複服薬者保健指導事業 ◎後発医薬品使用促進事業</p> 	
正しく服薬しよう 服薬管理			